

序章. 本事業の目的

1. 調査の背景と目的

八重瀬町（以下、本町）には、公共交通として「路線バス」と「タクシー」があるが、自家用車の保有率が高い本町では、これらの公共交通の利用は減少傾向にあり、今後もこのままの状況が続くと、自家用車以外に地域の移動手段を確保することが困難になる恐れがある。また、これからの高齢化の進展によって、今後は運転技能に不安をもつ高齢者が増加し、自家用車の運転を避けたり、自動車運転免許証の自主返納者が増えるなど、移動における代替手段を求める声が高まってくると思われる。

今後の公共交通は、地域の移動手段として市民の生活の質（QOL）を維持し、町民のライフスタイルに合った持続可能な公共交通ネットワークを構築することが求められるが、本町ではどのような新たな公共交通の可能性があるのかを検証し、町民や交通事業者、行政が協働し、まちづくりと一体となった持続可能な公共交通ネットワークを構築することを目指して本調査をまとめる。

基本方針

コミュニティバスなどに限定せず、地域におけるさまざまな交通資源を検証しつつ、需要予測なども踏まえて持続可能な交通ネットワークの導入可能性を検討する。

2. 本調査で対象とする地域

本調査で、新たな公共交通を検討する上で、その対象地域は「町内全域」とする。

3. 本調査で対象とする旅客運送サービス

本調査で検討する地域旅客運送サービスは、コミュニティバスなどに限定せずさまざまな交通手段を検討の対象とし、本町内にある交通資源などにも考慮して実施する。

有償運送

- ・コミュニティバス
- ・デマンド型バス（乗合タクシー）
- ・自家用有償運送

無償運送

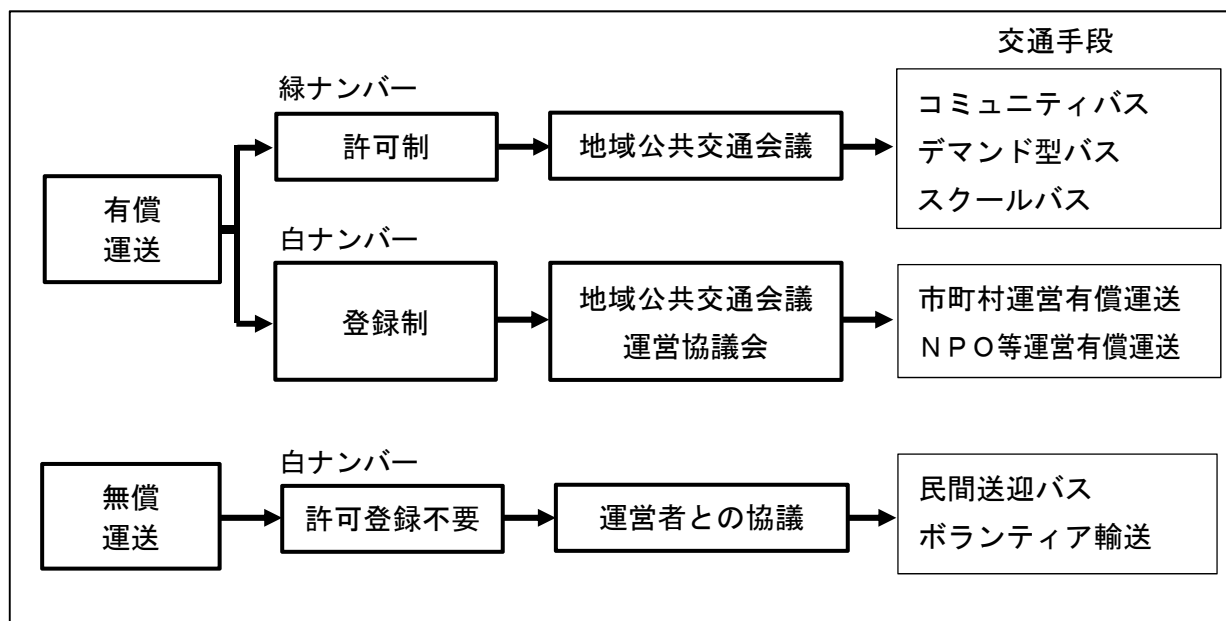
- ・民間送迎バス
- ・互助型ボランティア輸送
- ・スクールバス

その他

- ・外出支援タクシー
- ・その他の対応策（クロスセクターの検討）

4. 本調査の主な構成

1) 地域を担う移動手段のフロー図

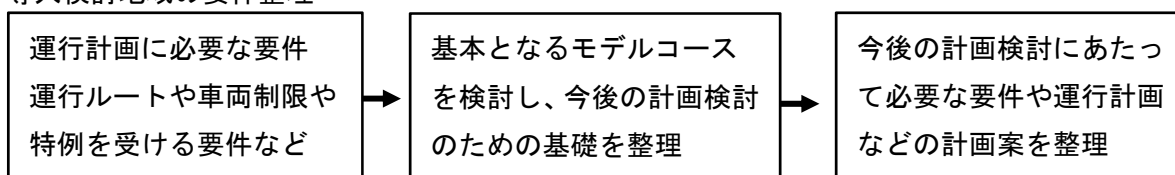


2) 交通手段の検討フロー図

令和2年度に実施された「八重瀬町地域公共交通導入基礎調査」に基づく、八重瀬町内の公共交通の利用実態や地域及び交通課題などをもとに、本調査では、地域を担う交通手段として、コミュニティバスなどに限定せず、他の交通手段についても検討し、本調査をまとめた。

コミュニティバス導入を検討

導入検討地域の要件整理



コミュニティバス以外の導入を検討

導入検討地域の要件整理

